

平成29年度(2017年度)

管理事業名	総合運動場事業				総合計画の体系	第4章 個性が光る学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 38 総合運動場費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
総合運動場管理事業						
事業の目的と概要	指定管理者制度において、総合運動場の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 124,611人	人	109,628	116,804	124,263	個人使用・専用使用・大会等の利用者数
総合運動場使用料収入額	千円	8,560	6,518	7,251	使用料収入決算額
成果の説明	平成28年(2016年度)から施設使用料の改定により、専用使用料は引き下げとなり、個人使用においては利用区分をなくし、開場時間のなかで低料金で、いつでも利用できる時間制に変更しました。 平成29年度(2017年度)の利用者数は、平成28年度(2016年度)比7,459人(6.4%)、平成27年度(2015年度)比14,635人(13.3%)増加しました。 また使用料収入は、平成28年度比733千円(11.2%)増加、平成27年度比1,309千円(15.3%)減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	8,560	6,518	7,251	733
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	269	446	558	112
経常収入 小計(a)	8,829	6,964	7,809	845
給与関係費	2,699	6,230	4,493	△1,737
物件費	91,049	93,989	89,857	△4,132
維持補修費	680	2,344	1,336	△1,008
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	38	63	15	△47
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	105,605	105,605	105,605	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	182	927	251	△676
退職手当引当金繰入額	686	4,626	△2,058	△6,684
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	200,940	213,784	199,499	△14,285
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△192,111	△206,820	△191,690	15,129
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	0	0
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△192,111	△206,820	△191,690	15,129
一般財源充当額	86,063	96,446	106,171	9,725
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△106,048	△110,374	△85,519	24,854

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	使用料収入額 7,251千円
給与関係費	職員人件費 4,493千円
物件費	指定管理委託料 89,515千円 建築物・建築設備定期点検委託業務 327千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	8,829	6,964	7,809	845
行政サービス活動支出	94,892	103,410	97,022	△6,389
行政サービス活動収支差額	△86,063	△96,446	△89,213	7,233
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	16,958	16,958
投資活動収支差額	-	-	△16,958	△16,958
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△86,063	△96,446	△106,171	△9,725
一般財源充当額	86,063	96,446	106,171	9,725
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	投資活動支出:管理棟中央監視設備改修工事

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	109,628人	1,833円	総合運動場の利用者1人あたり、1,605円のコストがかかっています。
	平成28年度	116,804人	1,830円	
	平成29年度	124,263人	1,605円	
開場1日あたりのコスト	平成27年度	359日	559,721円	総合運動場の1日あたり、555,708円のコストがかかっています。
	平成28年度	359日	595,499円	
	平成29年度	359日	555,708円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	927	251	△676	
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-	
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-	
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	927	251	△676	
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-	
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
事業用資産	有形固定資産	11,899,108	11,810,462	△88,646	固定負債	6,406	3,956	△2,450	
	土地	9,396,024	9,396,024	-	地方債	-	-	-	
	建物・工作物	2,503,084	2,414,438	△88,646	長期借入金	-	-	-	
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	6,406	3,956	△2,450	
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-	
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-	
	固定資産	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	7,333	4,207	△3,127
		土地	-	-	-	純資産	11,909,205	11,823,685	△85,519
		建物・工作物	-	-	-	純資産の部合計	11,909,205	11,823,685	△85,519
		建設仮勘定	-	-	-				
重要物品		17,430	17,430	-					
図書館資料		-	-	-					
投資その他の資産		-	-	-					
出資金		-	-	-					
長期貸付金		-	-	-					
基金		-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-						
その他債権	-	-	-						
資産の部合計	11,916,538	11,827,892	△88,646	負債及び純資産の部合計	11,916,538	11,827,892	△88,646		

Ⅲ 財務構造分析

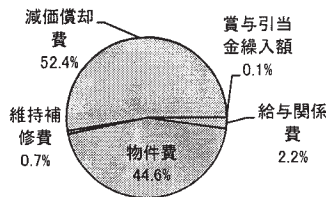
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	0.58人				2,686
給与関係費等	2,686千円				2,686
内、時間外勤務手当	255千円				

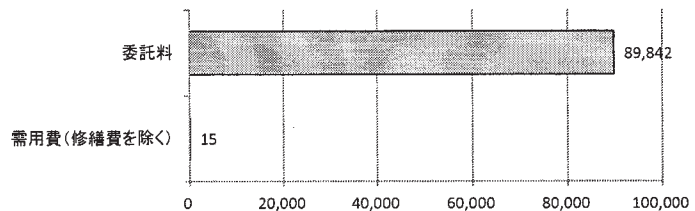
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	総合運動場
建物・工作物	減価償却による減
重要物品	絵画3点

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合運動場
取得年月日	平成6年(1994年)5月15日(供用開始)
建物・工作物の取得価額	4,940,148 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,525,710 千円
利用料金収入	7,251 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		0.0	0.0	0.0	0.0
施設老朽化比率		47.0	49.2	51.1	1.9
受益者負担比率		4.3	3.0	3.6	0.6
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		90.7	93.3	93.1	△0.2
経常費用対公共資産比率		4.1	4.3	4.0	△0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が51.1%と1.9ポイント進行しました。コスト全体の44.6%を物件費が占め、そのうちの99.6%を指定管理委託料が占めています。また、減価償却費がコスト全体の52.4%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

総合運動場は、平成23年度(2011年度)より指定管理者制度を導入しています。平成28年度(2016年度)から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスグループを新しい指定管理者として管理運営を行っており、指定管理者により券売機を設置することで、受付方法の簡素化を行い、市民の利便性の向上を図り大変喜ばれました。平成28年度にトレーニング機器(有酸素系マシン)8台を更新して、トレーニング室の充実を図るとともに、開場時間のなかでの低料金の時間制に料金改定を行い、利便性を向上させたことにより、利用者は増加傾向にあります。平成29年度(2017年度)は、管理棟中央監視設備改修工事(17,410千円)、緊急ガス遮断装置取替修繕(274千円)、非常用発電機蓄電池取替修繕(612千円)を行いました。今後は、老朽化の著しいフィールドやトラックの改修に向けて、効率的、有効的な活用ができるようハード面・ソフト面の両面から検討し、計画的に改修を行う必要があります。